

## 問 槻木地区の 便利な生活道路整備を

**答** 莫大な金がかかるので  
可能性を含めて検討していく

**問** 槻木地域の道路整備は葉坂24号線、入間田20号線が主であります。槻木地区の生活道路整備はまだ不十分であり、進入路は四日市場と白幡からの2カ所であり、実質的には四日市場の1カ所だけあります。柴田バイパスに出るのも不満の声があり、そのアクセスについてもっと具体的に計画立案をして



四日市場排水機場

星 吉郎 議員

進めるべきだと思いますので町長にお伺いいたします。

(1) 柴田バイパスのコミリから槻木文化センターまでの改良計画と、このルートの方について。

(2) このルートの計画図作成と、地権者に説明を図ってはどうか。

## 問 槻木一帯の水害対策、 工事工法の構想は

**答** 過去の水害データ、住民の情報・意見等を  
基礎資料にする

**問** 槻木一帯の最近の水害被害状況を検討しますと、関係機関の努力にもかかわらず、地域住民が望む最小限の安心・安全の確保にはまだまだ程遠い状況にあります。関係機関が知恵と鋭気を出し合って地域住民のため対処して欲しい。そのためには地形による水の流れを洞察することが治水の基本と考

**答** 滝口町長 進入道路については大変に苦労をかけております。議員提案の道路である槻木文化センターから国道4号線へのアクセスですが、具体的な事業計画になると財源的に出来るかどうか。事業に載せた場合、文化センターから幅広い道路にした時には軒並み移転しなければならず、莫大な金がかかる。また、移転保障しないで文化センターの幅員でタッチした場合など、この辺の選択もあります。また、今のところ地域住民に期待感を持たせるのはいかがなものか。常に頭に入っているんで待つて欲しい。

加藤徳廣 議員

えます。洞察には正確なデータ、地域住民のご協力が必要と考え次の3点お伺いします。

(1) 槻木一帯の水害対策への取り組みは。

(2) 住民の協力依頼について。

(3) 工事工法の基礎資料の重要性について。



住民に待たれるアクセス

**答** 滝口町長 (1) 国は8・5水害後、槻木一帯の床上冠水被害ゼロを目指しての工事を平成13年度完成しました。しかし、その後宅地・工場等の進出により流出量が増加したため四日市場排水機関場を増設し、治水に対処しております。

(2) 地域住民と行政側が一体となり対策に万全を期する考えです。

(3) 工事工法の基礎資料は地域の特性、過去のデータ、地元の情報・意見等取り入れて計画を立て、工事実施の重要資料にいたしたい。